



# いきいきファーマーだより 第69号

平成 25 年 1 月 15 日 益田農業担い手支援センター発行

益田市ホームページアドレス <http://www.city.masuda.lg.jp/>

## 目次

- 1, 行事スケジュール
- 2, お役立ちなんでも情報
- 3, 紹介コーナー
- 4, 益田市認定農業者連絡協議会からのお知らせ
- 5, 雑談コラム

## 1, 行事スケジュール

日にち	イベント名	会場・時間
1月20日(日)	第12回水仙の里かまてウォーク	場所: 鎌手公民館 開会式: 9:15~
1月19日(土)	アグリミーティング2013in島根	場所: くにびきメッセ 時間: 9:30~15:00
1月23日(水)	食品衛生及び食品表示研修会	場所: 益田合庁 時間: 13:30~
2月28日(木)	平成24年度西部地区肉用牛振興大会	場所: 益田市民学習センター 時間: 13:00~

## 2, お役立ちなんでも情報~各地イベント・情報提供~

記帳・帳簿の保存期間に御用心！！

これまで白色申告者に対する記帳・帳簿保存義務においては、「前年又は前々年の事業(農業)所得等の合計が300万円を越える方」に対して帳簿保存義務が課せられていましたが、平成26年1月より申告を行う全ての方に対象が拡大しました。

下記の表にしたがって、帳簿・書類を保存しておきましょう。



### 【帳簿書類の保存期間】

保存が必要なもの		保存期間
帳簿	収入金額や必要経費を記載した帳簿(法定帳簿)	7年
	業務に関して作成した上記以外の帳簿(任意帳簿)	5年
書類	決算に関して作成した棚卸表その他の書類	5年
	業務に関して作成し、又は受領した請求書、納品書、送り状、領収書などの書類	

※不明な点がございましたら、益田税務署までご連絡を！！ (22-0444)

## ますだ「起農塾」を開講します！

市農業担い手支援センターでは、本年2月より市内在住者や市内企業を対象として農業研修講座を開講する予定としており、ただいま受講生を募集しています。このたびの研修内容は、西条柿の栽培です。講師は、農業普及部の神城農業改良普及員。前回実施した際には、7名の受講生があり、そのうち2名がその後西条柿の栽培に取り組んでいます。今回も受講生の中から地域農業の担い手が育成されることを大いに期待をしているところです。

## 第6回農業サポーター養成講座「ますだアグリ楽援」開講予定です！！

これまで5回の講座が開催されたアグリ楽援ですが、第6回目の講座を本年5月から1年間の予定で開講されます。現在30名の登録サポーターの方にお手伝いいただいておりますが、この度、認定農業者に限定されておりましたサポーターの活動範囲を認定就農者にも拡大したことに併せ、多くのサポーターの皆さんが活発に活動されることをイメージしてアグリ楽援の開講準備をしているところです。

今回も、メロン・ぶどう・トマト等益田の主要作物を中心に実習予定ですが、その他の野菜や果樹も講義を交え農業全般について学んでいただきます。時間が取れば農家さんへの視察も設けたいと思いますので、その時はご協力をよろしくお願いいたします。

新たなサポーターの誕生を心待ちにしたいところです。(来年になりますが・・・★)

## 青年の主張大会へJA西いわみ青年部竹内直美さんが出場しました

11月12日に山口県下関市で開催された「平成24年度中国・四国地区JA青年の主張大会」へ、島根県代表としてJA西いわみ青年連盟益田支部の竹内直実さんが出場しました。

竹内さんは「私の財産」と題した発表で、ブドウ農家である父が長年培ったものを受け継いだ後の苦労や感謝の気持ち、将来への展望を語りました。

結果は、参加した9県中、第2位の優秀賞を受賞されました。1位はJA香川県・芳竹宣幸さんでしたが、竹内さんも内容については決して劣るものではなく、素晴らしいものでした。

竹内さん、優秀賞受賞、おめでとうございます。

## 初の試み「わさび料理コンテスト」

益田市匹見町産業文化祭の特別企画として、匹見特産「わさび」を使ったアイデア料理コンテストが開催されました。

匹見町のわさび生産量は、生産者の高齢化や消費の低迷などにより年々減少傾向ですが、わさびの魅力や自然豊かな土地柄にひかれ、全国各地からIターン希望者も増えつつあります。そこで、匹見わさびの産地再生に向けた取り組みの起爆剤の一つになればと企画されたものです。

出品作品は、漬物、総菜、ごはん物、調味料、デザートと幅広く、わさびの用途の広さを実感するものでした。

最優秀賞を受賞した「わさびの山」は、Iターン夫妻が考案した作品です。わさびをデザートに使用した斬新なアイデアとわさびの葉・根茎・ガニ芽すべてを利用した点が高く評価されました。

ミルクの白色にわさびソースの緑色がとても映えていました。是非また食べたいものです。



最優秀賞作品  
「わさびの山」  
(わさび風味ミルクプリン×わさびソース)

### 3. いきいきファーマー紹介コーナー

名前：田原 正太	営農類型：肉用牛
年齢：25歳	住所及び主な営農場所： 益田市白上町
<b>農業を始めたきっかけは？</b> 親が牛飼いをしている、小さい頃から牛がいることが当たり前だったからです。	
<b>将来の夢は？</b> 経営の基盤を作って、安定した経営を目指すことです。	
<b>趣味は？</b> 休日はほとんどないので・・・ 強いて言うなら飲みに行くことでしょうか。	
<b>仕事をしていて楽しいと思うことは何ですか？</b> 無事に子牛が生まれた時や、 無事に妊娠したことが分かった時です。	



## 4. 益田市認定農業者連絡協議会からのお知らせ

### 第15回全国農業担い手サミット in 秋田へ行ってきました

#### ○全体会

平成24年11月31日から12月1日に、「ニッポンを耕そう!ユタカナ国へ」をテーマに、第15回全国農業担い手サミット in 秋田が開催されました。

全体会では、優良3経営体（個人経営、法人、集落営農組織）の基調報告が行われ、表彰を受けた経営体から、人材育成・地域貢献に積極的に取り組まれた事例が紹介されました。

また、パネルトークでは、震災にあわれ、そこからの復興を目指す岩手、宮城、福島、秋田県の状況、取組等が紹介されました。今なお、風評・放射能被害が復興の妨げとなっています。また、秋田県は直接の被害が無い場合、風評被害を受けているにもかかわらず国からの支援がない、福島県では農産物すべての放射能検査を実施しているが、1つでも基準値を超えるとすべて同等に扱われるなど、厳しい現状が紹介され、これからも更なる支援が必要と思いました。

#### ○地域交流会

サミット2日目は、地域交流会として、地域ごとのコースに分かれての出発となり、益田市チームは、「豪雪被害からの再生を目指す果樹産地コース：参加者69名」の平鹿地域を視察しました。平鹿地域は秋田の南の内陸部にあり、横手焼きそばで有名な横手市を中心に、水稻、野菜（すいか、キュウリ、トマト、枝豆、アスパラガス、ほうれん草）、果実（リンゴ、ブドウ）の生産が盛んな地域です。

平成23年の雪害により、甚大な被害を受け、特にリンゴの木は、幹が裂け大変な被害でした。しかし、生産者の方は、大雪の中、<sup>かすがい</sup>鋸、ボルト等で幹をつなぎ合わせ賢明の修復を行ったとの説明を受けました。リンゴの木は生命力が強く、裂けた部分を樹皮が覆い包んで再生するそうです。しかしながら、この地域の果樹等を取り扱う増田フルーツセンター（出荷場）の売上げは20億円あったものが、現在は7億円となり、元に戻るのにもう5年は掛かるそうです。

来年のサミットは、石川県で開催されます。是非、皆さん一緒に参加しましょう。

#### ■■雑談コラム■■

2013年がスタートしました。今年はどんな年になるでしょうか?! 明るい一年になったらいいですね。私は、月並みですが「健康第一」で一年を乗り越えていきたいと思えます! 健康には、食が大切! 今年も益田の美味しい産物をいただいて、年齢に負けないようがんばりますよ。(^^)今年もよろしく願いいたします。

(M・H)